

野外観察会の作法

早川 由紀夫

群馬大学教育学部地学教室

(2010年9月24日受理)

How to plan out a geological fieldwork

Yukio HAYAKAWA

Department of Earth Science, Faculty of Education, Gunma University

Maebashi, Gunma 371-8510, Japan

(Accepted on September 24th, 2010)

野外観察会で参加者がとる知的行為は、聞く、見る、考えるである。このうち、どれがもっとも重要だろうか。

1 聞く

初心者は、しばしば専門家である案内者の説明を「聞く」ことに神経を集中する。案内者の言うことをすべてノートに書き留めようとする人までいる。案内者にビデオカメラを向ける行為がこれの究極の姿だ。しかし「聞く」を最優先する行為は、せっかく現地に足を運んだのに、実物を見ずに帰って来てしまう悪弊につながる。案内者も、説明時間をあまり長くとるべきでない。「聞く」に重きを置くなら、現地に行かずに室内で講義を受けたほうがよほど効率がよい。

2 見る

野外観察会のときに最も優先すべき参加者の知的行為は、「見る」である。現地に行って、自然の中に身を置いて、風景の中に特定の観察点を求め、対象を大スケールから極小スケールまで自在に変化させて観察することに時間を使う。見る以外にも、触っ

て、たたいて、なめて、においをかぐ。見たものの名前や属性を知るためには案内者の説明を「聞く」のがてっとり早い。自分が見たものを既存世界の中に的確に位置づけることができる。

写真をとるのは、観察したことを記録にとどめるために有効な手段である。試料を持ち帰ることも有効である。ただし、そのどちらも観察を先送りするための行為であってはならない。観察はその場でして、仮の結論を出してから次の観察点に向かうべきである。

3 考える

さて、野外観察会で「考える」行為はどうだろうか。見たら、自動的に考える。この特徴をつくりあげた自然の営みは何だったのだろうか、この地層をつくった流れはどれくらいの規模で、どれくらいの速度だったのだろうか、などと考える。その場で考えることは必要だし、推奨されることだ。考えようとしないう参加者には、考えるよう案内者が促すのがよい。しかし考えるべき問題は、現場でその時間を使うことが有効な問題だけに限る。家に帰ってから考えて間に合う問題（たとえば弾道軌道の力学計算など）は、その場では考えない。その解決に時間を

使うくらいなら、「見る」時間を増やすべきだ。

せっかく野外観察に行ったのに、自然を見ることなく案内者がいうことを聞いてばかりいる参加者は、愚かだ。せっかく野外観察に行ったのに、物理の計算に熱中して目の前の自然を見る時間を逃す参加者も、同様に愚かだ。

4 案内者には戦略が必要

初心者は野外観察の作法になれていないから、「見る」ように彼らを仕向けるのは簡単でない。いまの学校教育は、その効率化のために、情報は与えられるものと生徒たちに勘違いさせてしまっている。情報は自分から取りに行くものであることをまだ知らない参加者に、複雑な自然を見てその中から有益な情報を選び出してつかみ取らせるには、工夫がいる。案内者に戦略が必要である。

5 自然への畏敬を忘れるな

自然は、教科書に書いてあるとおりにつくられていると純朴に信じている初心者が少なくない。自然は複雑であって時々刻々変化することを知らず、些細なことをみつけて、それが教科書に書いてあるとおりでないとか、自分の思いと違うとかを指摘して、

あたかも自然が誤っているかのように思い込む初心者がいる。自分が自然の上に君臨しているかのような意識をもっている。自然に対する畏敬の念を欠いたこのような参加者には、自然はひとよりもはるかに大きな存在であり、ひとは自然の中で生かされている小さな存在であることをよく教える必要がある。自然の圧倒的な力は受け入れざるをえないものだと気づかせる。

6 美しいものに感動する

美しいものを見て感動するころの豊かさを参加者が持っているかどうか、野外観察会が成功するかどうかの鍵のひとつだ。子どもは素直だから感動できる。知的に成熟したおとなも感動できる。俗世間に染まったおとなは感動するところを忘れてしまっているから、彼ら主体の見学会を成功させるのはたいへんむずかしい。

切り立った岩壁、縞模様をつくる火山灰の積み重なり、新緑のどんぐりの森、澄んだ水の流れ。こういうものに美しさを感じ、感動して、それを自然にことばにすることができる参加者を得た観察会は成功する。

美しいものの背後には解説されるべき自然の営みが隠されている。それは神のしわざだ。



浅間山の鬼押出しで行われた野外観察会